



目 次

- [第106回国立大学法人10大学理学部長会議及び
第24回国立大学法人理学部長会議開催される](#)
- [本学と中国浙江大学との大学間交流協定更新される](#)
- [バリアフリー対策工事について](#)
[→3号館エレベータ・廊下の床・照明及び本館トイレをリニューアル](#)
- [「産学官連携イノベーションフェアin北海道2006」に参加](#)
- [「教育コンテンツ・マルチメディアシステム」の導入](#)
- [理学研究院 諮問委員会委員（日本科学未来館 館長）
毛利 俊 博士が「オーストラリア名誉勲章」を受章](#)
- [学会賞等の受賞](#)
- [国際会議・シンポジウムの開催](#)
[「先端化学に関する日中シンポジウム（第2回先端化学に関する
北海道大学－南京大學交流シンポジウム）」開催](#)
- [外国の研究機関との共同研究](#)
- [外国人研究者受入状況](#)
- [海外からの来訪者（短期滞在）](#)
- [学位授与 平成18年12月25日付け学位授与者](#)
- [人事異動〈正規職員・非正規職員〉H18.10.2～H19.1.1](#)
- [行事予定〈平成19年1月～平成19年4月中旬〉](#)

<理学部2・5号館>

3号館屋上から臨む元旦の朝陽

第106回国立大学法人10大学理学部長会議及び 第24回国立大学法人理学部長会議開催される

第106回国立大学法人10大学理学部長会議及び第24回国立大学法人理学部長会議が平成18年10月12日、13日に筑波大学及び千葉大学の当番によりK K Rホテル東京で開催されました。

12日に開催された第106回国立大学法人10大学理学部長会議では、①「新助手の位置付け」、②「にせ科学の蔓延に対する提言等」、③「過去5年間の大学院学生定員、充足率」、④「学校教育法の一部改正（大学の教員組織の変更）への対応」、⑤「科学研究費による研究教育環境の維持」について活発な議論が行われました。

13日開催の第24回国立大学法人理学部長会議には、文部科学省説明の後、①「教育研究活性化のための外部資金獲得」、②「過去5年間の大学院学生定員、充足率」について協議が行われました。

本学と中国浙江大学との大学間交流協定更新される

平成14年1月20日に締結された本学と中国浙江大学との大学間交流協定が、このたび有効期間の満了を迎えました。

協定の締結を機に、記念国際シンポジウム、共同セミナー、共同研究等の研究者交流が活発に行なわれてきました。学生交流でも、特に言語文化部で短期留学生を毎年派遣する等、積極的な取り組みが行なわれています。当大学と交流実績を持つ部局も12部局に増え、全学的な広がりを持った交流に発展しています。

この5年間の交流実績に基づき、本研究院 龔 劍萍教授を中心に交流協定を更に5年間更新することで合意し、本学の手続きを踏んで平成19年1月20日付けで更新されました。今後さらなる相互交流の発展が期待されます。

バリアフリー対策工事について

平成17年度総長重点配分経費の対象事業として「キャンパスライフの充実に係る事業」が掲げられており、「障害を有する学生等に対する支援事業（バリアフリー対策）」について年次計画を策定し、順次整備することとされています。

理学部では平成18年度として、2件が示達され『3号館エレベータ改修工事』（昭和47年製造）として、エレベータのかごと扉、身障者対策を行った各操作パネル及び動力設備のリニューアルを行います。

また、この工事と平行して、間接経費で承認されました、3号館の廊下の床補修と照明設備の改善を行います。

もう1件が『本館南側便所改修工事』で段差のある床をフラットにし、トイレブースも広くし、手摺りを有効に配し、身障者も健常者も使いやすいトイレにリニューアルします。

「産学官連携イノベーションフェアin北海道2006」に参加

平成18年11月9日～10日の両日、札幌市「アクセスサッポロ」で開催された「産学官連携イノベーションフェアin北海道2006」に本研究院から2拠点に参加しました。

このフェアは北海道・東北地区を中心とした大学、技術移転機関が大学で創出された研究成果や産学連携の新しいとりくみの紹介等を行い、来場者との新しい接点を見出す場として実施されました。

本研究院から参加したブースには、本学 中村総長と文部科学省研究振興局 研究環境・産学連携課 佐野課長が立ち寄られ、研究者等と熱のこもった意見交換が行なわれました。

なお、この事業は今年度も昨年に引き続き、北海道最大規模の産業ビジネス展示会である「ビジネスE X P O」と同時開催で行なわれ、約2万人の来場者でにぎわっておりました。

(本研究院から参加した拠点)

1. 北海道大学科学技術コミュニケーター養成ユニット (C o S T E P)

代表者 杉山滋郎教授 (物理学部門)

2. 北海道大学基礎科学人材社会活躍推進計画

基礎科学上級スキル人材ステーション (基礎科学 S - c u b i c)

代表者 川端和重教授 (生命理学部門)



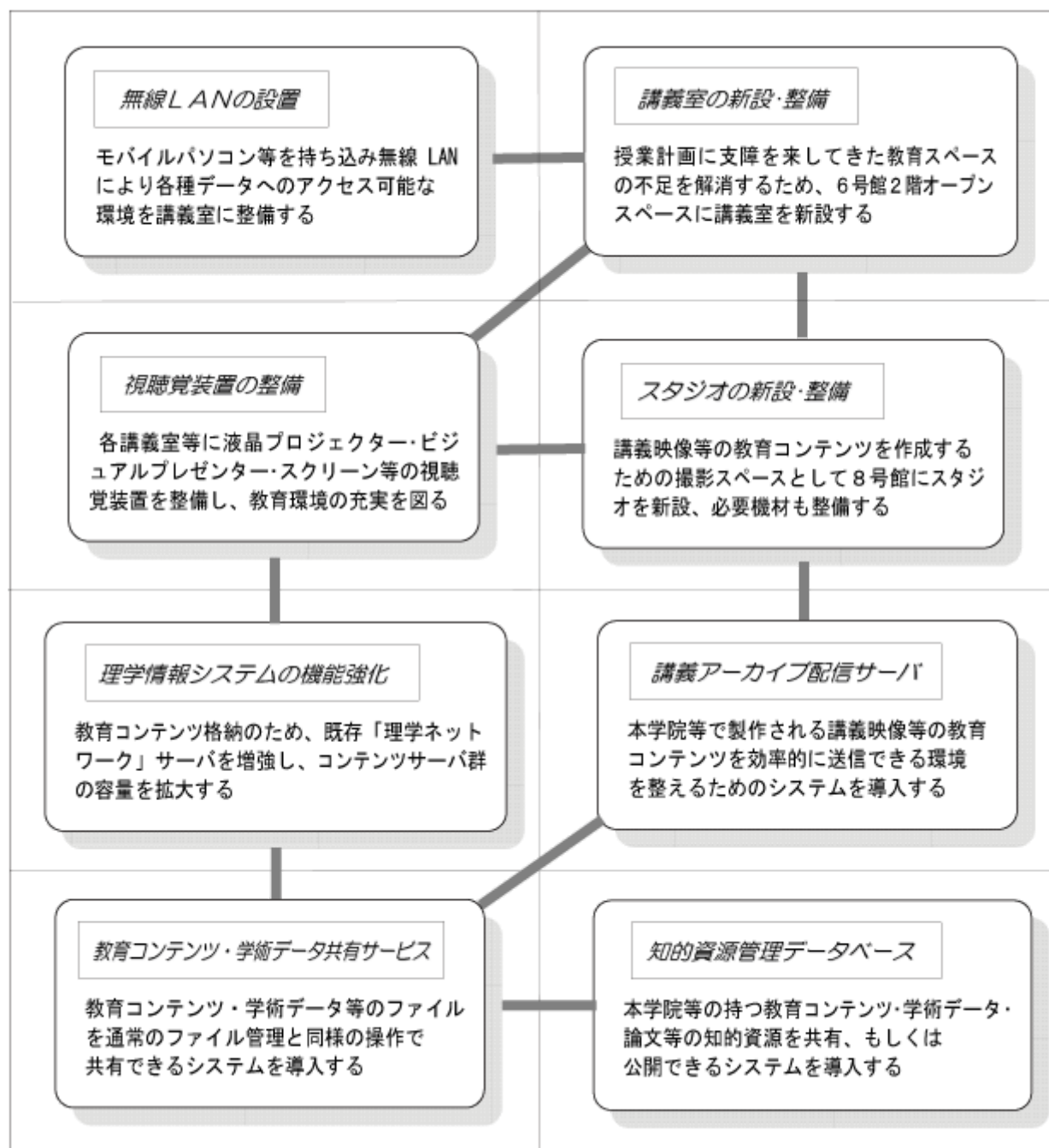
(ブースに訪れた中村総長、佐野文部科学省研究環境・産学連携課長に対応する隈本邦彦特任教授)



(ブースに訪れた中村総長、佐野文部科学省研究環境・産学連携課長に対応する住友秀彦特任教授)

「教育コンテンツ・マルチメディアシステム」の導入

本システムは各講義室等を高速ネットワーク回線で繋ぎ、各教室に設置したプロジェクターやスクリーン等の視聴覚設備により、教育コンテンツの開発と提供サービスの実現を目指したマルチメディア教育システムです。システムの導入にあたって、以下の概要図のとおり、講義室・スタジオの新設、視聴覚装置・無線LANの整備、理学情報システムサーバーの増強、関連システムの構築などの調達手続きを現在進めています。導入経費は、平成18年度特別教育研究経費の内、特別支援事業経費として採択、示達されたものです。システムの運用は、調達手続きが終わった19年4月を予定していますが、本格運用がスタートすると、コンテンツ作成設備で製作・蓄積された教育用コンテンツや各種データは、授業の教材に利用するほか、理学情報システムに一元管理され、情報資源の共有化や授業連携の効率化が図られます。また、学生は教室内の無線LAN等を介し、蓄積された情報資源から自由に教育用コンテンツの利用ができ、大容量高速ネットワークとマルチメディアの特性を活かした学習体系の形成が可能となります。



理学研究院 諮問委員会委員 毛利 衛 博士が オーストラリア名誉勲章を受章

本学大学院理学研究院諮問委員会委員（日本科学未来館館長）の毛利衛博士（1970年本学部化学科卒）が、これまでの日豪における教育および科学分野での貢献により、オーストラリア名誉勲章（Honorary Member of the Order of Australia：A M）を受章し、2006年12月14日に東京のオーストラリア大使公邸で行われた授章式にて、マレー・マクレーン駐日オーストラリア大使より授与されました。

本名誉勲章は、オーストラリアへ多大なる貢献を果たしたオーストラリア国民以外の人に贈られるもので、1980年以降これまでに約30名の日本人にこの名誉勲章が授与されています。

毛利博士は1972年に本研究科化学専攻修士課程を修了後、南オーストラリア州にあるフリンダース大学大学院博士課程に留学し、1976年にPh.D.の学位を得ています。その後本学工学部の助手、講師、助教授を経て、1992年に日本人初の搭乗科学技術者としてスペースシャトルで実験を行い、2000年より日本科学未来館館長となっています。

毛利博士は留学以来、特にスペースシャトル搭乗以降、積極的に日豪の教育・科学分野の交流に取り組んでおり、今回の受章はこの貢献が認められたものです。



学会賞等の受賞

北海道大学大学院理学研究院 化学部門 木口 学講師は、「電気化学電位による金単原子ワイヤーの構造制御」により、2006年11月6日、社団法人 日本表面科学会から「日本表面科学会 第16回奨励賞」を受賞されました。

北海道大学大学院理学研究院 自然史科学部門 込本 尚義教授は、「酸素同位体局所精密分析法の開発とそれを用いた太陽系初期の酸素同位体不均一に関する研究」により、2006年9月14日、社団法人 日本地球化学会から「日本地球化学会賞」を受賞されました。

北海道大学大学院理学研究院 自然史科学部門 見延 庄士郎教授は、「北太平洋における気候の数十年スケール変動に関する研究」により、2006年10月26日、社団法人 日本気象学会から「堀内賞」を受賞されました。

北海道大学大学院理学研究院 技術部 技術長 佐藤久志氏は、技術職員として、長きにわたり本学における低学年教育の維持・改革に多大の貢献をなし、顕著な功労があったと認められ、2007年1月24日、北海道大学職員表彰を受けられました。

同氏は、比較的人目につきににくい職域にありながら41年余の永年にわたり、全学教育・物理学実験にかかる各種実験器具の整備等、教員を支援し、全学教育物理学実験（基礎実験）を支える業務を効率的かつ積極的に行ってきました。また、同氏は、1987年に発見された高温超伝導を1990年から全学教育に取り入れることになった際にも、積極的にアイディアを出し、新しい全学実験の開発に積極的に取り組むとともに、生物的な事象を物理実験に取り入れた新しいテーマ開発など基礎物理実験の開発に努力してきました。さらに、18年度にスタートした自然科学実験の改革に際し、物理分野の教科書執筆にも貢献しました。

なお、写真は同氏（中央）が教員の学生指導を補助しているところです。



「先端化学に関する日中シンポジウム(第2回先端化学に関する北海道大学－南京大学交流シンポジウム)」開催

昨年の南京大学での「第一回先端化学に関する北海道大学－南京大学交流シンポジウム」に引き続き、今年は北海道大学と南京大学との間の大学間協定へと発展したことを受け、南京大学から8名の教授、南京大学近隣の蘇州大学から1名の教授を招き、2006年11月10～11日の二日間、北海道大学理学部で第二回目のシンポジウムである「Japan-China Joint Symposium on Modern Chemistry (2nd Hokkaido University-Nanjing University Joint Symposium)」を開催しました。

このシンポジウムは、総長室重点配分経費による大学間交流の推進事業（招へい事業）および理学研究院国際シンポジウムとしての資金援助を受けて開催されました。また、魅力ある大学院教育イニシャティブ「高邁なる大志を抱いたT型化学者養成」の事業でもあり、大学院学生が海外の研究者と直接ディスカッションし交流する場としての国際シンポジウムとしても企画しました。

中国からの9名の講演者に加え化学専攻の8名の講演者による計17件の化学の幅広い分野（物理化学、物性化学、計算化学、材料化学、錯体化学、有機化学、医化学など）の講演が行われ活発な意見交換が行われました。ポスターセッションでは化学専攻大学院生による41件の発表があり、中国の研究者と大学院生との活発なディスカッションおよび交流が行われました。

今回は、中国にて第三回シンポジウムを開催することを約束して、会を閉じました。

（組織委員代表 武田定）

写真タイトル

1. 講演者および組織委員の集合写真（右下）
2. 大学院生によるポスター発表、中国研究者との交流（左上）



外国の研究機関との共同研究

対象期間：平成18年10月1日～平成19年1月31日

理学研究院 物理学部門 教授 熊谷健一

共同研究名

【日本学術振興会・2カ国間交流事業】

強相関電子系金属酸化物における相転移と量子臨界現象の研究

共同研究を行った研究機関・研究者職・氏名（実施期間）

ロシア・Russian Academy of Science, Ural Division

・Senior Scientist, K. N. Mikhalev (2006.11.01 - 2007.01.31) 【期間修正：再掲】

理学研究院 自然史科学部門 教授 込本 尚義

共同研究名

【NASA研究費事業】

内部原始太陽系星雲の同位体進化を探るためのコランダム凝縮物の研究

共同研究を行った研究機関・研究者職・氏名（実施期間）

米 国・ハワイ大学

・教授 A.N.Krot (2006.06.01 - 2007.05.31) 【再掲】

理学研究院 自然史科学部門 教授 込本 尚義

共同研究名

【NASA研究費事業】

SNC隕石中の揮発性元素の研究

共同研究を行った研究機関・研究者職・氏名（実施期間）

米 国・ウェスレヤン大学

・助教授 J.P.Greenwood (2006.06.01 - 2007.05.31) 【再掲】

理学研究院 自然史科学部門 助教授 角皆 潤

共同研究名

【日本学術振興会事業】

サハリン島および南プリモリーエ州周辺に湧出するメタンおよび軽炭化水素類の起源

共同研究を行った研究機関・研究者職・氏名（実施期間）

ロシア・Pacific Oceanological Institute

・Head of Lab of Gas Geochemistry

・Obzhirov Anatoly Ivanovich (2006.08.01 - 2007.07.31) 【再掲】

理学研究院 自然史科学部門 教授 鈴木 徳行

共同研究名

【日本学術振興会事業：日ロ共同研究】

北西太平洋地域の地球史事件層序：生物、気候、海水準および堆積学的事件

共同研究を行った研究機関・研究者職・氏名（実施期間）

ロシア・ロシア科学アカデミー地質学研究所

・主任研究員 Dr. Andrey Yu. Gladenkov（2005.09.1～2007.08.31）

※ 筑波大学大学院生命環境科学研究科 地球進化学専攻 教授 小笠原 憲四郎

理学研究院 生命理学部門 助教授 松島 俊也

共同研究名

【日本学術振興会事業】

神経回路の双安定性と行動制御に関する学際的研究

共同研究を行った研究機関・研究者職・氏名（実施期間）

ポーランド・ポーランド科学アカデミー 生物サイバネティックス研究所

・助教授 Tiaza Bem-Sojka（2006.10.20～2006.12.18）

外国人研究者受入状況

期間：2006年10月1日～2007年1月31日

(受入れ部門名：数学)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【経 費 等・受入教員】
2006.11.12 -2006.12.12	フランス・ボルドー：University of Bordeaux I・CNRS Researcher (ボルドー第1大学 ・フランス国立科学研究センター研究 員) Rémi CARLES	「非線型散乱理論」に関する共同研究の発展 及び若手研究者との議論を通じた交流 【日本学術振興会事業・小澤 徹】

(受入れ部門名：物理学)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【経 費 等・受入教員】
2006.11.03 -2006.12.09	ロシア：Russian Academy of Sciences, Ural Division (ロシア科学アカデミー・ウラル研究 所) Konstantin Mikhalev	2カ国間共同研究事業による「強相関電子系金属酸化 物における相転移と量子臨界現象の研究」 【日本学術振興会事業・熊谷 健一】
2006.11.03 -2007.01.24	ロシア：Russian Academy of Sciences, Ural Division (ロシア科学アカデミー・ウラル研究 所) Anton Buzlukov	2カ国間共同研究事業による「強相関電子系金属酸化 物における相転移と量子臨界現象の研究」 【日本学術振興会事業・熊谷 健一】

(受入れ部門名：化学)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【経 費 等・受入教員】
2006.11.01 -2006.11.21	アメリカ合衆国：North Dakota State University・Professor (ノースダコタ州立大学・教授) Kenton R. Rodgers	学術交流（研究成果の発表、情報交換など） 【日本学術振興会事業外国人招へい研究者（短期） ・石森 浩一郎】
2006.11.24 -2006.12.05	中国： 南京大学・化学・化工学院・教授 ZHAO Jian Wei	共同研究 【私費（研究者本人負担）・魚崎 浩平】
2006.05.01 -2007.03.18 -2008.04.30 (H20.6.10修)	スウェーデン： 日本学術振興会・外国人特別研究員 Reza Dabirian Tehrani	分子内の電子伝導に及ぼす分子内相互作用の効果に 関する研究業務 【日本学術振興会事業・魚崎 浩平】

正) 【再掲】		
2006.07.01 -2007.03.31 【再掲】	カナダ・オンタリオ州： 大学院理学研究院・学術研究員 Deyu, Qu	金表面への有機薄膜の構造制御成長に関する研究業務 【北海道大学（教育研究支援資金）・魚崎 浩平】

（受入れ部門名：自然史科学）

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【経 費 等・受入教員】
2006.10.10 -2006.10.22	フランス・パリ： パリ自然史博物館・研究員 Anders Meibom	サンゴの酸素同位体研究 【私費（研究者本人負担）・塚本 尚義】
2006.11.12 -2006.11.25	米国・コネチカット： Wesleyan University（ウェスレヤン大学） ・助教授 James Greenwood	火星隕石の研究 【私費（研究者本人負担）・塚本 尚義】

（受入れ部門名：生命理学）

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【経 費 等・受入教員】
2005.10.06 -2006.10.05 【再掲】	中国 浙江省杭州市： 21COE「バイオとナノを融合する新生命科学拠点」 ・COE博士研究員 杜 焱	ゲルの示す特異な物理的性質の研究 【21世紀COEプログラム経費・グン 剣萍】
2005.10.06 -2006.10.05 【再掲】	中国 浙江省杭州市： 21COE「バイオとナノを融合する新生命科学拠点」 ・COE博士研究員 王 萍	C6グリア細胞における遺伝子発現の定量シングルセルPCR解析に関する研究 【21世紀COEプログラム経費・浦野 明央】
2006.08.06 -2006.10.06	イタリア：Faculty of Psychology, University of Trieste, graduate student, PhD candidate (トリエステ大学心理学部・大学院博士課程学生) Tommaso Pecchia	鳥類の空間記憶に関する共同研究 【科学研究費補助金・松島 俊也】
2006.10.17 -2006.12.15	イタリア：Faculty of Psychology, University of Trieste, graduate student, PhD candidate (トリエステ大学心理学部・大学院博士課程学生) Cinzia, Chiandetti	鳥類の視覚認知に関する共同研究 【科学研究費補助金・松島 俊也】
2006.10.20 -2006.12.18	ポーランド：Institute of Biocybernetics, Polish Academy of Science, Associate Professor (ポーランド科学アカデミー 生物サイバネティクス研究所・助教授) Tiaza Bem-Sojka	経済的行動選択の脳内アルゴリズムに関する共同研究 【日本学術振興会事業・松島 俊也】

2006.02.24 -2007.02.23 【再掲】	中国： 長江大学・教授 Chen, Daqing（陳大清）	研修 【国際協力銀行「対中国円借款人材育成事業」 ・山本興太郎】
-----------------------------------	-------------------------------------	--

（受入れ部門名：地震火山研究観測センター）

年 月 日 （期 間）	来 訪 者 （国名・所属・職名・氏名）	目 的 【経 費 等・受入教員】
2006.04.01 -2006.07.31 【追加報告】	ロシア： 大学院理学研究院 附属地震火山研究観測センター 特任教員（特任助教授） SALTYKOV, VADIM	高周波地震動ノイズの地震予知への応用に関する研究業務 【北海道大学（外国人教員など）・笠原 稔】
2006.09.04 -2006.11.30	ロシア： 大学院理学研究院 附属地震火山研究観測センター 特任教員（特任教授） PONOMAREVA Vera Viktorovna	北海道・千島・カムチャッカにかけて堆積している火山灰解析に関する研究業務 【北海道大学（外国人教員など）・谷岡 勇一郎】
2006.12.05 -2007.03.29	インド： 大学院理学研究院 附属地震火山研究観測センター 特任教員（特任助教授） Nagendra Pratap Singh	火山体，活断層地域での電磁気的手法による地下構造探査の構造分解能を向上させる研究業務 【北海道大学（外国人教員など）・茂木 透】

海外からの来訪者(短期滞在)

期間：平成18年10月1日～平成19年1月31日

【受入れ部門名：数学】

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 (受入教員)
2006.09.17- 09.23 【追加報告】	フランス：パリ第6大学数学科 ポスドク研究員 Giovanni Morando	学術動向等に関する研究打合せ補助 (本多 尚文)
2006.10.08- 10.28	中国：復旦大学応用力学科 講師 王 盛章	学術動向等に関する研究打合せ (中村 玄)
2006.10.12- 10.19	ベトナム：Institute of Physics and Electronics, Hanoi 上級研究員 Nguyen Vihn Quang	研究打合せ (小澤 徹)
2006.11.06- 11.13	ポーランド：Jagiellonian University 助手 Pawel Pilarczyk	特別講演での講演と研究打合せ (坂上 貴之)
2006.11.12- 11.19	トルコ： University of Michigan 助手 Selim Esedoglu	研究集会「Mathematical Aspects of Image Processing and Computer Vision 2006」への参 加と講演 (利根川 吉廣)
2006.11.14- 11.19	フランス：CMAP, Ecole Polytechnique 教授 Antonin Chambolle	研究集会「Mathematical Aspects of Image Processing and Computer Vision 2006」への参 加と講演 (利根川 吉廣)
2006.11.29- 12.11	ロシア：ステクロフ数学研究所 上級研究員 Maxim Kazarian	セミナーでの講演 (大本 亨)
2006.12.02- 12.16	フランス：Universite Paris 13 教授 Jacques Tilouine	数論セミナーでの講演 (前田 芳孝)
2006.12.05- 12.10	アメリカ：オレゴン大学 教授 Sergey Yuzvinsky	研究打合せ (寺尾 宏明)
2006.12.18- 12.20	イラン：Department of Mathematics & Statistics, Queen's University 助教授 Hadi Salmasian	表現論セミナーでの講演と研究打合せ (山下 博)
2006.12.23- 12.26	韓国：慶北国立大学 教授 Il Bong Jung (丁一峯)	関数空間シンポジウムへの参加と講演 「Extremal properties for hyperinvariant subspaces」 (中路 貴彦)
2006.12.23- 12.26	韓国：慶北国立大学 大学院学生 Gyung Young Moon	関数空間シンポジウムへの参加 (中路 貴彦)
2007.02.21- 03.21	イタリア：Department of Mathematics,	研究打合せ (利根川 吉廣)

	University of Pisa 助手 Matteo Novaga	
--	--	--

【受入れ部門名：物理学】

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 (受入教員)
2006.10.10- 10.12	オーストリア：ウィーン工科大学 教授 E. Bauer (E.バウワー)	視察および研究討議 (熊谷 健一)

【受入れ部門名：化学】

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 (受入教員)
2006.06.20 【追加報告】	South Africa : University of Limpopo Prof. Phuti Ngoepe	合同シンポジウム開催 (居城 邦治)
2006.10.03 【再掲】	アメリカ：ミシガン大学 準教授 Zhen Chen	表敬訪問 (魚崎 浩平)
2006.10.13- 10.14	チェコ共和国：Charles University Professor Vladimir Matolin	共同研究打ち合わせ (魚崎 浩平)
2006.11.10	中国：南京大学 教授 Ren-Gen Xiong	国際シンポジウム参加・講演 (武田 定)
2006.11.10	中国：南京大学 教授 Wei-Yin Sun	国際シンポジウム参加・講演 (武田 定)
2006.11.10	中国：南京大学 教授 Jian-Xin Li	国際シンポジウム参加・講演 (武田 定)
2006.11.10	中国：南京大学 教授 Jun-Jie Zhu	国際シンポジウム参加・講演 (武田 定)
2006.11.10	中国：南京大学 教授 Huangxian Ju	国際シンポジウム参加・講演 (武田 定)
2006.11.10	中国：南京大学 教授 Xinghua Xia	国際シンポジウム参加・講演 (武田 定)
2006.11.10	中国：南京大学 教授 Zheng Hu	国際シンポジウム参加・講演 (武田 定)
2006.11.10	中国：南京大学 教授 Weiping Ding	国際シンポジウム参加・講演 (武田 定)
2006.11.10	中国：南京大学 教授 Jian-Ping Lang	国際シンポジウム参加・講演 (武田 定)
2006.11.29	中国：中国科学院長春応用化学研究所 教授 Li NIU	表敬訪問 (魚崎 浩平)

【受入れ部門名：生命理学】

--	--	--

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 (受入教員)
2006.12.04	アメリカ：NIST Dr.Wen-li Wu	研究討論及びセミナー “Neutron Scattering Theory and Its Application to DN Hydrogels” (龔 剣萍)
2006.12.04- 12.08	フランス：ボルドー大学理学部生物学科 教授 Pierre Meyrand	セミナーと研究交流のため (松島 俊也)

学位授与

平成 18 年 12 月 25 日付け学位授与者（2名）

（課程博士）

Maria Luisa Wong Sasil-Orbita（生物科学専攻）

Effects of aging on the photosynthetic activity and life history strategy in temperate seagrasses

（温帯性海草類における光合成活性に及ぼす加齢の影響と生活史戦略）

（主査：教授 向井 宏）

（論文博士）

藤 田 亮 介（数学専攻）

On the geometric module associated to finite complexes with a finite group action

（有限群が作用する有限複体からできる幾何学的加群について）

（主査：教授 吉田 知行）

人事異動

対象期間：平成18年10月2日～平成19年1月1日

<正規職員>

平成18年12月1日付け発令

(転出)

自然史科学部門宇宙惑星科学分野講師
琉球大学理学部教授へ

遊 馬 芳 雄

平成19年1月1日付け発令

(昇任)

附属地震火山研究観測センター助教授
同センター助手から

勝 俣 啓

<非正規職員>

(採用, 配置換, 転入)

H18.10.30 地震火山研究観測センター	非常勤研究員	小 林 知 勝
------------------------	--------	---------

(任期満了退職, 辞職)

H18.10.05 バイオとナノCOE	博士研究員	Du Miao
H18.10.25 新・自然史COE	博士研究員	栗原 暁
H18.11.30 新・自然史COE	博士研究員	田中 秀二
H18.12.28 バイオとナノCOE	博士研究員	王 萍
H18.12.28 バイオとナノCOE	博士研究員	楊 怡
H18.12.28 地震火山研究観測センター	非常勤研究員	宮城 洋介
H18.12.31 地震火山研究観測センター	学術研究員	岡部 敬史

行事予定

〈平成19年1月～平成19年4月中旬〉

月	日	曜	事 項
1	5	金	全学教育科目，大学院・学部専門科目授業再開
	10	水	大学入試センター試験試験場部会，監督員説明会
	11	木	学院入学試験委員会，研究院・学院代議員会議
	11	木	大学院第2次募集出願資格予備審査結果通知（15：00頃）
	11	木	平成19年度第1学期授業時間割（案）提出締切
	11	木	平成19年度大学院授業科目シラバス原稿提出締切
	12	金	大学院理学院第2次募集願書受付【～18日（木）】
	18	木	理学研究院長選挙第1次投票【不在者投票：5日（火）～17日（水）】
	20	土	大学入試センター試験【～21日（日）】【19日（金）終日休講】
	23	火	全学教育科目補講日【～24日（水）及び30日（火）～31日（水）】
	25	木	理学研究院長選挙決戦投票【不在者投票：19日（金）～24日（水）】（不要となる場合有）
	25	木	理学研究院・学院・理学部教授会（理学研究院長等候補者の決定）
	31	水	全学教育科目第2学期授業終了
	31	水	転学・転部・転科・編入学・再入学申し出締切
2	1	木	全学教育科目定期試験【～14日（水）】
	6	火	【5日（月）午後一部休講】 大学院理学院修士（博士前期）課程及び博士後期課程第二次入学試験【～7日（水）】
	8	木	研究院代議員会議
	9	金	3月学位授与予定者の審査報告関係書類提出締切，修士論文題目提出締切
	13	火	卒業修了予定者の成績提出（入力）締切（正午）
	13	火	大学院・学部専門科目補講・集中講義期間【～22日（木）】
	15	木	全学教育科目第2学期追試験【～19日（月）】
	16	金	学位申請（3月付託）締切
	16	金	研究生・聴講生・科目等履修生願書受付【～22日（木）】
	19	月	全学教育科目定期試験成績入力締切（正午）
	20	火	全学教育科目追試験成績入力締切（正午）
	23	金	理学部・理学院春季休業【～4月2日（月）】
	21	水	本学第二次入試試験場部会，前期日程監督員説明会
	25	日	本学第二次入学試験（前期日程）【23日（金）試験場設営】
3	1	木	理学部学科長会議，学院入学試験委員会，研究院・学院代議員会議
	1	木	大学院理学院修士（博士前期）課程及び博士後期課程入学試験合格者発表（16：00頃）
	1	木	研究生・聴講生・科目等履修生入学許可通知（16：00頃）
	5	月	研究院・学院・理学部教授会
	上～中旬		学科等分属手続き（平成17年度以前入学者のみ対象）
	12	月	本学第二次入学試験（後期日程）【9日（金）試験場設営】
	13	火	正午 大学院（3月修了者を除く）成績提出締切
	22	木	正午 学部専門科目（卒業者を除く）成績入力締切
	23	金	学位記授与式
	30	金	学位申請（4月付託）締切
4	2	月	大学院理学院入学式
	2	月	学部新入生健康診断（午後：理学部，全学5日まで）
	4	水	大学院・学部専門科目授業開始（理学部共通科目を除く）
	5	木	新入生オリエンテーション及び理学部ガイダンス
	6	金	北海道大学入学式
	9	月	全学教育部教育情報システム利用ガイダンス・履修ガイダンス（理学部新入生）
	10	火	全学教育科目・理学部共通科目第1学期授業開始
	12	木	卒業・修了年次学生・研究生健康診断（午前：理学部，午後：大学院理学院等）
	12	木	研究院・学院代議員会議
	19	木	大学院新入生健康診断（午後：理学院）
	19	木	研究院・学院教授会，理学部教授会
	23	月	在学生（卒業・修了年次を除く）健康診断（午前：理学部，午後：大学院理学院等）